

## ❖ 島根県立サッカー場の芝床管理に貢献 JGS-CCグリーンを用いた土壌改良で、通気性・保水性が保たれる



島根県立益田サッカー場(島根県益田市)



●施工/平成12年5月 ●施工面積/9,750㎡

島根県立益田サッカー場は昭和53年3月に竣工し、昭和57年の「くにびき国体」ではサッカー競技のメイン会場として使われました。平成12年には大幅なリニューアルが行われ、芝床には当社JGS-CCグリーンが土壌改良資材として採用されました。

JGS-CCグリーンを用いたことにより、芝床の透水性・通気性が保たれ、また裸地になりづらいと評価を受けています。こうした順調な芝管理により、平成14年には5月～12月の8ヶ月130試合が実施されるなど、年間を通じて数多くの試合が実施され、広くサッカー愛好者に親しまれています。

## ❖ 日本陸連公認陸上競技場整備に採用 補助陸上競技場インフィールドのピッチ管理に貢献



等々力運動場競技場(川崎市中原区)



●施工/平成19年11月 ●施工面積/8,415㎡

神奈川県川崎市等々力緑地内にある等々力陸上競技場は、昭和41年の開設当初から、陸上競技をメインに市民が利用するスポーツ施設として活用されてきました。施設の老朽化対策と、平成20年6月の日本陸上競技選手権開催準備のため、平成19年9月～20年3月にかけて大規模改修工事が行われ、その際、インフィールドの芝張替え工事に当社JGS-CCグリーンが土壌改良資材として採用されました。

メイン会場とともに、前述日本陸上選手権など大規模大会の開催に加え、市民の陸上競技大会の会場などとして、活躍が期待されています。

## ❖ JGS-CCクレイを用いた県立高校の野球場整備事例 毎日の練習で球児を足元からサポート



弘前高校小沢野球グラウンド(青森県弘前市)



●施工/平成20年6月 ●施工面積/2,500㎡

青森県立弘前高等学校の小沢野球グラウンドでは、平成20年6月に内野の改修工事を行ない、その際JGS-CCクレイが土壌改良資材として採用されました。そのほか全国各地の野球場でJGS-CCクレイを用いた改修工事が行なわれるなど、活躍の場が増えています。

改修されたグラウンドは、ハードな練習明けの日々を送る球児たちの足元を支え、その成長を見守っています。

## ❖ 市民公園のゲートボール場の整備に採用 メンテナンスに優れ、市民の憩いの場となる



古津賀第4号公園(高知県四万十市)



●施工/平成18年2月 ●施工面積/2,530㎡

高知県四万十市の古津賀第4公園では、平成18年2月にゲートボール場として使用される広場の整備改修を行いました。整備に当っては雑草を抑制し、水はけが良く雨の後でもぬかるまないコートを作るという目的で、当社JGS-CCクレイが土壌改良資材として採用されました。

施工後の関係者の評価は上々で、毎日のように足を運ぶゲートボール愛好家をはじめ、市民の憩いの場となっています。